

平成28（2016）年度

大学院前期博士課程(修士課程)

学生募集要項（再募集）

◆ 経営学研究科

◆ 経済学研究科

◆ 法学研究科

◆ 文学研究科

◆ 理学研究科

◆ 生活科学研究科

※ 医学研究科、創造都市研究科、看護学研究科の募集要項は別途発行

大 阪 市 立 大 学

●本学の理念・基本方針等について

大阪市立大学の理念

- 大学の普遍的使命－優れた人材の育成と真理の探究－の達成
- 市民の誇りとなる大学
 - ・都市を学問創造の場としてとらえ、都市の諸問題に英知を結集して正面から取り組む。
 - ・教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。
- 市民に親しまれる大学
 - ・都市型総合大学として、都市・大阪の伝統と文化を継承する。
 - ・自由で創造的な教育と研究及び高水準の医療を推進する。
 - ・市民とともに、都市の文化、経済、産業、医療などの諸機能の向上を図り、真の豊かさの実現をめざす。

教育の基本方針

- 都市・大阪を背景とした市民の大学という理念に立脚
- 人類の幸福と発展に貢献
- 様々な分野で指導的役割を果たし、社会で活躍する人材の育成

研究の基本方針

- 新しい知の創造をめざす独創的で特色ある研究を推進
- 都市が抱える様々な課題に取り組み、成果を都市と市民に還元し、地域社会の発展に寄与
- 新しい産業を生み出す芽となる研究を推進し、その成果を社会に還元

人材育成の目標像

それぞれの学問領域の研究成果を体系的に学習し、学際領域にも応用展開できる創造力ある人材の育成

【大阪市立大学 大学院課程の3ポリシー】

大阪市立大学は、市井の精神に発した自主独立・自由進取の気風あふれる建学の伝統と、国際的にしてかつ個性的な研究および、高度にしてかつ闊達な教育環境を活かしながら、真善美の価値判断を身につけ英知と市民的公共性を備えた有為な学生、人類の幸福と発展に貢献するため、さまざまな分野において指導的役割を果たし、社会で活躍する学生を育成することを目指しています。

【大学院課程のディプロマポリシー(学位授与の方針)】

そのために、大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、高度に専門性を深め、幅広い知識を備えて、それらを融合しうる研究者や職業人など社会に貢献できる学生を育成します。

この目標を達成するために、全ての学生が、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能等を身につけ、研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を受け、所属研究科が定める所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。

前期博士課程では、各学問領域の研究成果の体系的な学習や自ら推進する研究活動等を通して、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を身につけ、当該分野の発展に貢献し、他の領域にも応用展開できる力を身につけているかどうか、課程修了の基準となります。

【大学院課程のカリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)】

大阪市立大学は、学位授与の方針に掲げる高度な専門性や知識・技術などを修得させるために、専攻分野に関する科目、大学院共通科目および博士課程教育リーディングプログラム科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業を開講するとともに、優れた研究指導を行う。

大学院共通科目としては、大学院課程を通して教育・研究目的の達成に必要な専門性を越えた普遍的で公正な視点で研究する姿勢を身につけることを目的として設置する。

【大学院課程のアドミッションポリシー(入学者受入の方針)】

大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、ディプロマポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、学部あるいは大学院の教育課程等における学修を通して培った確かな基礎学力と専門分野における十分な知識、および人間性豊かで、科学や都市の産業・文化・生活・環境の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そして、このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

目 次

〈 一 般 選 拔 〉

1	募 集 人 員	1
2	出 願 資 格	1
3	事 前 相 談	2
4	出 願 書 類 等	2
5	出 願 方 法	3
6	選 抜 方 法	4
	(学 力 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	4
	経 済 学 研 究 科	5
	法 学 研 究 科	6
	文 学 研 究 科	7
	理 学 研 究 科	9
	生 活 科 学 研 究 科	10
7	受 験 上 ・ 修 学 上 の 配 慮 を 希 望 す る 者 の 出 願 に つ い て	11
8	合 格 者 発 表 等 に つ い て	11
9	入 学 手 続	12
10	学 費	12
11	注 意 事 項	12

〈 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 〉

1	募 集 人 員	13
2	出 願 資 格	13
3	事 前 相 談	13
4	出 願 書 類 等	13
5	出 願 方 法	14
6	選 抜 方 法	15
	(学 力 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	15
	経 済 学 研 究 科	16
	法 学 研 究 科	17
	文 学 研 究 科	18
	理 学 研 究 科	20
	生 活 科 学 研 究 科	21
7	受 験 上 ・ 修 学 上 の 配 慮 を 希 望 す る 者 の 出 願 に つ い て	22
8	合 格 者 発 表 等 に つ い て	22
9	入 学 手 続	23
10	学 費	23
11	注 意 事 項	23

〈 出 願 資 格 審 査 に つ い て 〉 24

〈 社 会 人 特 別 選 抜 学 生 募 集 の 概 要 〉 25

○ キャンパス・交通案内図 27

○ 問 い 合 わ せ 先 裏表紙

●前期博士課程（修士課程）

前期博士課程（修士課程）の標準修業年限は2年です。

なお、法学研究科・文学研究科・理学研究科・生活科学研究科では、職業を有する、又は育児や介護等の事情により、標準修業年限を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを認める**長期履修学生制度**があります。詳しくは学生サポートセンター各研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。

〈一般選抜〉

1 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員
経営学	グローバルビジネス	24	若干名
経済学	現代経済	16	若干名
法学	法学政治学	15	若干名
文学	哲学歴史学	14	若干名
	人間行動学	16	若干名
	言語文化学	22	若干名
	アジア都市文化学	8	若干名

研究科	専攻	入学定員	募集人員
理学	数物系	29	※募集なし
	物質分子系	34	※募集なし
	生物地球系	29	若干名
生活科学	生活科学	48	若干名

※ 理学研究科では、外国人留学生特別選抜はすべての専攻で実施します。

・医学研究科、創造都市研究科及び看護学研究科の募集要項は、別途発行します。

注1 学力試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。

2 経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科・生活科学研究科については、社会人を対象とした特別選抜があります。社会人特別選抜の募集人員は上記入学定員に含まれます。社会人特別選抜の概要については、25ページを参照の上、各研究科個別の学生募集要項で確認してください。経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科及び生活科学研究科は、社会人特別選抜との併願を認めません。

なお、社会人特別選抜の詳細については学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成28年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学位授与機構又は大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (4) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部大臣の指定した者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (6) 平成28年3月末で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (7) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日現在において22歳以上の者

注1 2出願資格(6)、(7)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、平成27年12月1日(火)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要書類を提出してください（「出願資格審査について」24ページを参照してください）。

2 2出願資格(7)については、短期大学、高等専門学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有していない者であっても、当該研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者です。

3 事前相談

出願しようとする者は、出願前に、希望する研究指導教員に必ず相談してください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。また、事前相談は教員の出張等の都合により出願に間に合わない場合がありますので、原則として出願期間の2週間前までにしてください。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（各研究科教務担当の電話番号等は、裏表紙にあります）。

経済学研究科については、研究指導教員への相談は不要です。文学研究科は、アジア都市文化学専攻を除いて、研究指導教員への相談は不要です。

4 出願書類等

(1) 出願書類等（共通）

1	入学願書 (写真2枚)	<ul style="list-style-type: none"> ① 本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。 ② ※印の欄は記入しないでください。 ③ 受験票と写真票には、縦4cm×横3cmの同じ写真（上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの）をそれぞれ貼ってください。 ④ 「志望専門分野名」欄と「受験科目」欄には、6. 選抜方法 学力試験（4ページ以下）の「願書記入上の注意」をよく読んで、指定された欄のみ記入してください。 ⑤ 出願後の記載の変更は認めません。
2	成績証明書及び卒業（見込）証明書	出身大学長、又は学部長等が作成したもの。（※1） （但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業（見込）の者〔例えば、経営学研究科の場合は商学部〕、及び2出願資格（6）、（7）に該当する者は提出する必要がありません。）
3	学位授与証明書 又は 学位授与申請受理証明書	2出願資格（2）に該当する者は、提出すること。（※1）
4	受験票等 送付用封筒	本学所定の封筒に 362円 分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入したもの。
5	出願資格認定通知書	2出願資格（6）、（7）により出願する者のみ提出。
6	入学検定料	30,000円 郵便局の窓口で、本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 ※12ページ 11 注意事項(3)に該当する者以外には、 既納の入学検定料は返還しません。

※1 旧姓(名)の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わった理由を別紙に記載してください(様式任意)。

(2) 研究科ごとに必要な書類

《経営学研究科》

A	志望理由・ 研究計画書	経営学研究科所定の用紙を用い、記述の上提出してください。
---	----------------	------------------------------

《経済学研究科》

A	志望理由・ 研究計画書	経済学研究科所定の用紙を用い、研究計画等を記述の上、原本1部を提出してください。
---	----------------	--

《法学研究科》

A	志望理由書 研究計画書	法学研究科所定の用紙を用い、科目重視型方式に出願しようとする者は「志望理由書」を2部、課題重視型方式に出願しようとする者は「研究計画書」を4部提出してください。
---	----------------	--

《文学研究科》

A	卒業論文（写し） 注を参照	志望専攻の専門分野に関係のあるもの（本学文学部の卒業（見込）で同一専攻専門分野を受験する者は不要です）。
<p>注1 卒業論文を課さない大学・学部出身者、志望専攻の専門分野と異なる学部・学科・選考等の出身者の場合</p> <p>「卒業論文(写し)」に代えて、「研究報告書」(志望専攻の専門分野について研究したことを8,000字程度にまとめたもの)を提出してください。</p> <p>A4版(縦長)にワープロ等で横書きしてください(手書きも可)。</p> <p>1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。</p> <p>「研究報告書」は出願時に提出してください(提出期日の延長は認めません)。</p>		
<p>注2 出身大学の卒業論文提出日の関係で、出願時に提出できない場合</p> <p>次の手順で期日延長を認めます。なお、出身大学の卒業論文提出日が期日延長日より遅く設定されている等、提出できないことがあらかじめ予想される場合は、「研究報告書(注1参照)」を出願時に提出のこと。</p> <p>① B「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。</p> <p>② 学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：平成28年1月28日(木)の消印有効 学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：平成28年1月29日(金)17:00まで (郵送の場合は、封筒に「卒業論文(写し)在中」と朱書きし、必ず「文学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録郵便により送付のこと。)</p>		
B	文学研究科 必要事項記入用紙（全員）	文学研究科所定の用紙を用い提出してください。
C	A、C以外の研究成果を示す論文等（写し） （希望者のみ）	A（卒業論文の写し（又は研究報告書））以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。

5 出 願 方 法

出願しようとする者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒(出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表を切り取ったものを貼った封筒でもかまいません)を使用し、下記の送付先に必ず**書留速達郵便**により送付してください。ただし、本学に在学している者(研究生・研修生等を含む)については、下記出願期間中の10:00～15:00(12:00～12:45を除く)の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます(本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること)。

出 願 期 間	送 付 先
<p>平成28年1月4日(月)～1月8日(金)</p> <p>【8日17時必着】</p> <p>※ただし、1月7日(木)以前の発信局(日本国内)消印のある「書留速達郵便」に限り、期限後に到着した場合でも受理します。</p> <p>また、最終日の15時から17時のみ入試室の窓口でも受け付けます。</p>	<p>〒558-8585</p> <p>大阪市住吉区杉本3丁目3番138号</p> <p>大阪市立大学 大学運営本部入試室</p>

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。1月18日(月)頃に発送の予定ですので、1週間経過しても到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

6 選 抜 方 法

入学者選抜は、学力試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。学力試験会場は、本学杉本キャンパス（JR阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車）です。

なお、詳細は、受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(学 力 試 験)

● 経 営 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

企業等の経営や会計、産業の諸領域に関わって、広い視野に立って専攻分野を研究し、精深な専門的あるいは学際的知識を学修する意欲と能力を有する人を求めます。

《グローバルビジネス専攻》

2月17日（水）		2月18日（木）
10：00～12：00	13：10～15：10	10：00～
筆答試験	筆答試験	口述試験
外国語 (100点) 英語 語学辞書 持ち込み不可 TOEFL iBTによる 代替可 (注2参照)	専門科目（出題分野）(200点) 下記の出題分野からそれぞれ1問ずつ、合計10問が出題されます。 (A)経営、(B)経営情報、(C)国際ビジネス、(D)金融、 (E)流通、(F)産業、(G)会計、(H)経営分析、(I)経済学、 (J)数学・統計学 10問のうち2問を選択し、各問1,000字以上で解答してください。 ただし、解答文字数制限は、出題分野「(J)数学・統計学」からの出題に対する解答には適用されません。	筆答試験の解答と研究計画書について行います。 (1人当たり 約15分)

- 注1 2月17日（水）の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。該当者は、2月18日（木）9：30に経営学研究科支援室（商学部棟1階事務室）前で発表します。
- 2 外国語（英語）の試験で、受験者が以下のいずれかの試験方法を選択できるようにします。
- ① 入試日の英語の筆答試験を受験する。
 - ② TOEFL iBT (Internet-Based Test) を受験する。TOEFL iBT の成績 (120 点満点) を 100 点満点に換算して、入試の英語の評価点数として採用する。
 - ③ 入試日の英語の筆答試験と TOEFL iBT の両方とも受験した場合は、TOEFL iBT の成績 (120 点満点) を 100 点満点に換算して、入試の英語の筆答試験と TOEFL iBT の高い方の成績を入試の英語の評価点数として採用する。
- 3 TOEFL iBT の成績の使用を希望する場合、以下のすべての条件を満たすことが必要です。
- ① 平成 28 (2016) 年 2 月 10 日 (水) までに経営学研究科に送付された Official Score Report (公式スコア票) の成績を有効とする。
 - ② 入試で有効とする TOEFL iBT の成績は、平成 26 (2014) 年 11 月 1 日から平成 27 (2015) 年の 10 月 31 日までの 1 年間に受験した TOEFL iBT テストの成績とする (TOEFL テスト事務局が有効とする 2 年ではありません。)
- また、TOEFL PBT (Paper-Based Test) 及び TOEFL-ITP (団体向け) の成績は不可とします。注意してください。
- 4 TOEFL iBT の成績の使用を希望する受験者は、志望理由・研究計画書にそのことを記載してください。記載されていない場合は、TOEFL iBT の成績は利用できません。
- 5 TOEFL iBT の Official Score Report (公式スコア票) が経営学研究科に送付されるよう手続きをする際、DI コード (Institution Code) 及び Department Code に、次の番号を用いてください。
 DI コード：8914 Department Code：82

願書記入上の注意

受験科目は記入の必要がありません。

● 経済学研究科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

一般コース

経済学の基礎理論を習得したうえで、現代の経済学の先端的な理論や実証研究に関心をもつと同時に、豊かな現実感覚をもつ人を求めています。

修士専修コース

経済学に対する関心をもちながら、社会のさまざまな分野で問題解決に取り組む意欲のある人を求めています。

《現代経済専攻》

本研究科前期博士課程には、後期博士課程への進学あるいは長年の職業体験やライフワークの学問的成果への結実を目指して修士論文作成を目標とする「一般コース」と、現代経済に関する精深な知識を獲得して社会の諸分野で活躍する人材養成を目標とする「修士専修コース」が置かれています。後期博士課程へ進学を希望する場合は、一般コースを受験してください。修士専修コースから後期博士課程に進学することは出来ませんので、注意してください。

○ 一般コース

2月18日（木）		2月19日（金）
9：30～10：30	10：50～11：50	13：00～14：30
筆答試験		口述試験
英語Ⅰ	英語Ⅱ	筆答試験の解答・研究計画書について行います。 （1人当たり 約15分）
経済理論1（マルクス経済学1）、 経済理論2（マルクス経済学2）、 経済理論3（近代経済学1）、 経済理論4（近代経済学2）、 計量経済学、経済史、経済政策、 国際経済 上記の8問の中から1問を試験場で選択。		
辞書1冊の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。		

注 口述試験は、2月18日（木）の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。
 該当者は、2月19日（金）13：30に経済学部棟1階エレベーター前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1に、入学後研究指導を希望する教員の氏名を、2にその担当授業科目を記入してください（「大学院の概要」〔別冊子〕参照）。
- ② 「志望専門分野名」欄の3に、志望する履修コース名「一般コース」と記入してください。

○ 修士専修コース

2月18日（木）		2月19日（金）
10：50～11：50	13：00～14：30	14：00～
筆答試験		口述試験
英語Ⅱ	経済理論1（マルクス経済学1）、 経済理論2（マルクス経済学2）、 経済理論3（近代経済学1）、 経済理論4（近代経済学2）、 計量経済学、経済史、経済政策、 国際経済 上記の8問の中から1問を試験場で選択。	筆答試験の解答・研究計画書について行います。 （1人当たり 約15分）
辞書1冊の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。		

注 口述試験は、2月18日（木）の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。
 該当者は、2月19日（金）13：30に経済学部棟1階エレベーター前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1に、入学後研究指導を希望する教員の氏名を、2にその担当授業科目を記入してください（「大学院の概要」〔別冊子〕参照）。
- ② 「志望専門分野名」欄の3に、志望する履修コース名「修士専修コース」と記入してください。

● 法 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

- 1 法学的・政治学的問題に豊かな関心を持ち、解決策を模索する強い意志を持つ人。
- 2 実務経験の中で生じる問題を、法学的・政治学的観点から考察しようとする意志を持つ人。
- 3 法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な基礎的知識を持つ人。
- 4 自己の見解を論理的に構築・展開して、相手に説明し正当化する能力を持つ人。

《法学政治学専攻》

下記科目重視型（外国語1科目）、課題重視型（外国語なし）の方式があります。特に、研究者を志望する者は、科目重視型方式で受験してください。

なお、科目重視型方式で受験する者は「志望理由書」、課題重視型方式で受験する者は、「研究計画書」を提出してください【「4出願書類等」（2ページ）参照】。

科目重視型方式		課題重視型方式	
2月17日(水)		2月17日(水)	
9:00~12:00	14:30~16:00	9:00~10:30	13:00~
筆答試験	筆答試験	筆答試験	口述試験
下表の専門試験科目のうち、 2科目 を選択。 (各科目100点 合計200点)	外国語 英語 ドイツ語 フランス語 中国語 から 1か国語 を選択。 (100点)	下表の専門試験科目のうち、 1科目 を選択。 (100点)	研究計画書及び筆答試験について行う。 (合否で判定する)

- 注 1** 課題重視型方式受験者について、実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟2階事務室前に掲示します。
- 2** 専門試験科目の選択の際には、「大学院において専攻する科目」を含めなければなりません。なお、国際組織法を専攻しようとする者は国際法を選択しなければなりません。
 - 3** 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。
 - 4** 外国語科目の筆答試験については、辞書1冊の持ち込みを可とします（ただし、電子辞書は不可）。

専門試験科目	法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法（商法総則、会社法）、民事訴訟法、倒産法、労働法、社会保障法、国際法、国際経済法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法（中国法）、欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学
--------	---

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、「大学院において専攻する科目」を記入してください。大学院において専攻可能な科目は、原則として上記の専門試験科目名と一致します。なお、国際組織法は上記専門試験科目名にあげられていませんが、専攻科目になります。
- ② 受験科目欄「専門」には、受験する専門科目名を記入してください。
科目重視型方式受験者は、2科目
課題重視型方式受験者は、1科目
- ③ 科目重視型方式受験者は、受験科目欄「外国語」には、選択する外国語科目名を記入してください。
- ④ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

● 文 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

文学研究科は、人間、社会、文化、言語に関心を持つ人間性豊かな人材を育成することを目標としている。

それに対応して、以下のような人材を求める。

※人文科学・行動科学の専門領域に関する明確な問題意識と専門的知識を有する人

※社会的経験をふまえて人文科学・行動科学の専門領域の研究を志す人

《哲学歴史学専攻》

日時等	2月17日（水）		2月18日（木）
	10：30～12：00	13：30～16：30	13：30～
	筆答試験		口述試験 (100点)
専門分野	外国語（100点）	専門科目（200点） (出題分野)	
哲 学	英語、ドイツ語、フランス語から 1か国語 を選択	哲学概論・西洋哲学史	専門分野別に、筆答 試験及び提出された 論文等について行い ます（1人当たり約 30分）。
日本史学	英語、ドイツ語、フランス語、中 国語、ロシア語、韓国・朝鮮語か ら 1か国語 を選択	日 本 史 学	
東洋史学	英語、ドイツ語、フランス語、中 国語、ロシア語、韓国・朝鮮語か ら 1か国語 を選択	東 洋 史 学	
西洋史学	英語、ドイツ語、フランス語、 ロシア語から 1か国語 を選択	西 洋 史 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《人間行動学専攻》

日時等	2月17日（水）		2月18日（木）
	10：30～12：00	13：30～16：30	13：30～
	筆答試験		口述試験 (100点)
専門分野	外国語（100点）	専門科目（200点） (出題分野)	
社会学	英語、ドイツ語、フランス語、中 国語、ロシア語、韓国・朝鮮語か ら 1か国語 を選択	社会学概論・社会学研究法（調 査法を含む）	専門分野別に、筆答 試験及び提出された 論文等について行い ます（1人当たり約 30分）。
心理学	英 語	心理学概論・心理学研究法	
教育学	英 語	教育学概論・教育方法学	
地理学	英 語	地 理 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《言語文化学専攻》

日時等 専門分野	2月17日(水)		2月18日(木)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
	筆答試験 外国語(100点)	筆答試験 専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
国語国文学	英語、ドイツ語、フランス語、 中国語、ロシア語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択	国文学・国語学	専門分野別に、筆 答試験及び提出 された論文等に ついて行います (1人当たり約 30分)。
中国語中国文学	中国語	中国文学・中国語学・中国文化学	
英語英米文学	英語	英米文学・英語学・英米文化学	
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学	ドイツ語、フランス語、英語、 ロシア語から 1か国語 を選択	ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ド イツ語圏文化学 フランス語圏文学・フランス語 学・フランス語圏文化学 ※※	
言語応用学	英語	言語応用学 (言語理論・言語応用論・言語比 較論・言語教育論等)	
表現文化学	英語、ドイツ語、フランス語、 中国語、ロシア語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択	表現文化学 (文化理論・表現文化論・表象文 化論・比較表現論等)	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

※※ ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《アジア都市文化学専攻》

日時等 専門分野	2月17日(水)		2月18日(木)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
	筆答試験 外国語(100点)	筆答試験 専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
アジア都市文化学	英語、中国語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択	アジア都市文化学 (アジアの都市と文化に関する 基礎的問題)	筆答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(1人当 たり約30分)。

※ 専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

● 理 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

自然科学における専門分野の基礎学力を有し、自然の摂理を解明・理解し、基礎科学的、学際的、あるいは応用的観点から研究を推進することを目指す人を求めます。

《生物地球系専攻》

2月10日（水）		
9：30～12：00	13：00～15：30	15：45～
筆答試験	筆答試験	口述試験
英 語	専門科目 地球科学	専門科目、卒業研究等

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください（専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください）。

講座番号	講 座 名	専 門 分 野
C 4	環 境 地 球 学	人類紀自然学、都市地盤構造学、地球情報学
C 5	地球物質進化学	地球物質学、岩石学、地球史学

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
- ③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

● 生活科学研究科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

人間生活の多様な側面を科学的に追究し、研究や実践を通じて、現代社会における生活問題の改善や解決、新しいライフスタイルの提案や構築、人々の生活の質の向上に貢献する意欲を持つ人を求めます。

出願しようとする者は、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照の上、志望する専門科目の教員に原則として出願期間の2週間前までに必ず相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当（裏表紙参照）に問い合わせてください。

《生活科学専攻》

日時等 履修 コース名	2月17日（水）			2月18日（木）
	10：00～11：30	12：30～14：00	14：30～16：00	10：00～
	筆答試験			口述試験
	<専門>	<外国語>	<基礎>	
食・健康科学	志望する専門科目を 1科目選択 食品機能化学 食品微生物学 栄養医科学 公衆栄養学 生体情報学 病態栄養学 臨床栄養学 給食経営管理論 生化学 食品衛生科学 生体機能学 食品生体防御学	英 語	次の4科目から 1科目選択 化学 生化学 解剖生理学 生物学	志望する専門について行います。 (1人当たり約10分)
居住環境学	志望する専門科目を 1科目選択 まちづくり学 住生活学 ハウジング 居住文化史 居住空間設計学 居住福祉計画学 住居人類学 医療福祉環境設計学 居住人間工学 居住環境工学 居住環境調整材料学 居住環境材料感性学 住居構工法	英 語	次の 3科目 から 1科目 を 選択 居住システムデザイン学 (住居学・計画学に関する 問題) 居住福祉デザイン学 (住居・施設設計学、人間 工学、安全工学に関する 問題) 居住エコロジー環境学 (居住材料・構造学、居住 環境工学に関する問題)	志望する専門について行います。 (1人当たり約10分)
総合福祉科学	志望する専門科目を 1科目選択 社会福祉学 ワークライフバランス政策学 先端ケア学 福祉政策学 コミュニティ福祉学 家族社会学	英 語	次の 2科目 必須 福祉基礎 1 福祉基礎 2 (社会学・心理学・ 教育学・経済学・ 社会福祉学に関する 問題)	志望する専門について行います。 (1人当たり約10分)

※合否判定は、各科目100点満点の4割以上かつ全科目合計点6割以上の者の中から、口述試験を含めて総合的に行います。

願書記入上の注意

次の共通①～④及び各コースの⑤に従って記入してください。

【コース共通】

- ①「志望専攻名」欄に生活科学と記入してください。
- ②「志望専門分野名」欄の1に志望する履修コース名を、2に研究テーマを、3に専門科目を記入してください。
※研究テーマは「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください。
- ③受験科目「専門」欄の1に筆答試験＜専門＞欄より上記②と同じ専門科目を記入してください。
- ④受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

【食・健康科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、食・健康科学コースの＜基礎＞から1科目を選んで記入してください。

【居住環境学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、居住環境学コースの＜基礎＞から1科目を選んで記入してください。

【総合福祉科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、平成27年12月3日（木）までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、平成27年12月4日（金）以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り12月3日（木）までに申し出てください。

8 合格者発表等について**(1) 合格者発表**

掲示・ホームページにより合格者の発表をおこないます。

研究科	日時（掲示・HP掲載期間）	場所（掲示）
経営学研究科	3月3日（木）10：00～3月9日（水）17：00	各研究科の 指定する場所
経済学研究科	3月2日（水）10：00～3月8日（火）17：00	
法学研究科	3月3日（木）10：00～3月9日（水）17：00	
文学研究科	3月3日（木）10：00～3月9日（水）17：00	
理学研究科	2月26日（金）10：00～3月3日（木）17：00	
生活科学研究科	3月3日（木）10：00～3月9日（水）17：00	

ホームページでの合格者発表

大阪市立大学入試情報ホームページ（<http://daigakuje.jp/ocu-in-goukaku>）に、合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による合否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

※経済学研究科・文学研究科を受験した者については、合格者発表日に「合格者受験番号一覧表」を発送します（返信用封筒を用意する必要はありません）。

(2) 合格通知書

合格者発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格者発表日に、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」を発送します（手渡しでの書類交付はありません）。

9 入学手続

入学手続は、下記の日程でおこないます。

日時 平成 28 年 3 月 25 日 (金) 10:00~15:00 (ただし、12:00~12:45 を除く)
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

10 学 費

現行の金額は次のとおりですが、平成 28 年度入学者の金額については変更されることがあります。

入学料	納付区分	「大阪市住民及びその子」注	222,000円
		「その他の者」	342,000円
授業料		年間	535,800円

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

- 注 1** 「大阪市住民及びその子」とは、入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、平成 27 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。
日本国籍を有しない者も同一の要件です。
- 2** 「大阪市住民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」及び「住民票などの公的書類（平成 28 年 3 月中に交付を受けたもの）」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は入学手続書類交付日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※既納の納付金は、還付いたしません。

なお、入学料及び授業料については、減免の制度があります。詳細については、入学手続書類交付日にお渡しする「入学料減免及び授業料減免・分納の取扱いについて」を参照してください。

11 注 意 事 項

- (1) 出願受理後の出願取り消しは一切認めません。
- (2) 学力試験の結果に関する照会には応じません。
- (3) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
 - ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・出願書類の不備等により受理されなかった場合
 - ・重複して入学検定料を払い込んだ場合※ 返還の方法等は、出願期間最終日より 1 か月以内に大学運営本部入試室までお問い合わせください。
- (4) 入学願書に虚偽の記載をした場合、又は入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。
- (5) 1 ページの「2 出願資格(6)(7)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
- (6) 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。

前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(裏表紙参照)。

〈外国人留学生特別選抜〉

1 募集人員

経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科・生活科学研究科の各専攻について、**若干名**を募集します（各専攻名は、1 ページの〈一般選抜〉で記載している「1 募集人員」を参照してください）。

2 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月までに修了見込みの者（ただし、16 年の課程を要しない国からの出願資格については事前に相談してください。）
- (2) 外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び平成 28 年 3 月までに卒業見込みの者、又は専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 28 年 3 月までに修了見込みの者
- (3) 昭和 28 年文部省告示第 5 号をもって文部大臣の指定した者
- (4) 平成 28 年 3 月末で、外国人留学生として日本の大学に 3 年以上、又は外国において 4 年制大学に 3 年以上在学し、もしくは 15 年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (5) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 28 年 3 月 31 日現在において 22 歳以上の者

注 1 2 出願資格 (2) の専修学校の専門課程は修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。

2 2 出願資格 (4) (5) により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、平成 27 年 12 月 1 日（火）までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要な書類を提出してください（「出願資格審査について」24 ページを参照してください）。

3 事前相談

出願しようとする者は、出願資格及び希望する研究指導教員について確認が必要ですので、出願前〔平成 27 年 12 月 1 日（火）まで〕に研究指導教員に必ず相談しておいてください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（各研究科の電話番号等は、裏表紙にあります）。

（経済学研究科については、研究指導教員についての確認は不要です。）

4 出願書類等

(1) 出願書類等（共通）

1	・入 学 願 書 ・受験票等送付用封筒 ・入 学 検 定 料	2 ページに記載の〈一般選抜〉「4 出願書類等」を参照。
2	日本語の能力証明書	日本語の公的試験を受けた者は、成績表のコピーを提出。 日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に指導を受けた教員により記載・公的な押印がされたものを提出（様式任意）。 ※個人の印では認められません。
3	旅券（パスポート）の写し	写真が掲載されているページと在留資格が掲載されているページのコピーを提出してください（在留資格がわかるようにコピーをとること）。 在留資格を所持していない場合は、写真掲載ページのみ提出してください。
4	出願資格認定書	2 出願資格 (4) (5) により出願する者のみ提出。
5	履 歴 書	本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。 ① 学歴は、学校教育全期間を記入してください。 ② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。 ③ 研究歴、職歴があれば記入してください。
6	成績証明書及び卒業（見込）証明書	最終出身（在籍）大学のもの。〈学士等の学位の記載のあるもの〉（但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業（見込）の者〔例えば、経営学研究科の場合は商学部〕、及び 2 出願資格 (4) (5) に該当する者は提出する必要がありません。） 注

注 和文、英文以外のものについては、公的機関（出身大学、日本語学校、大使館等）の証明のある翻訳文もあわせて提出してください。個人の署名や印では認められません。

(2) 研究科ごとに必要な書類

※ 経済学研究科及び文学研究科については、出身大学長等の推薦書は必要ありません。

《経営学研究科》

A	志望理由・研究計画書	経営学研究科所定の用紙を用い、志望理由及び研究計画等を記述の上、提出してください。
B	推薦書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成の上、厳封したもの。

《経済学研究科》

A	志望理由・研究計画書	経済学研究科所定の用紙を用い、研究計画等を記述の上、提出してください。
---	------------	-------------------------------------

《文学研究科》

A	卒業論文（写し） 注を参照	志望専攻の専門分野に関係のあるもの（本学文学部の卒業（見込）で同一専攻専門分野を受験する者は不要です）。 出身大学の学部長等が作成した「卒業論文の写しに相違ない旨の証明書」（様式任意）を表紙に貼ってください。 卒業論文が日本語以外の場合は、出願者自身が作成した日本語の要旨を添付してください。要旨は2,000字以内で、A4版（縦長）にワープロ等で横書きしてください（手書きも可）。 1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式は自由です。
	注1 卒業論文を課さない大学・学部の出身者、志望専攻の専門分野と異なる学部・学科・専攻等の出身者の場合 「卒業論文（写し）」に代えて、「研究報告書」（志望専攻の専門分野について研究したことを日本語で8,000字程度にまとめたもの）を提出してください。 A4版（縦長）にワープロ等で横書きしてください（手書きも可）。 1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。 「研究報告書」は出願時に提出してください（提出期日の延長は認めません）。	
	注2 出身大学の卒業論文提出日の関係で、出願時に提出できない場合 次の手順で期日延長を認めます。なお、出身大学の卒業論文提出日が期日延長日より遅く設定されている等、提出できないことがあらかじめ予想される場合は、「研究報告書（注1参照）」を出願時に提出のこと。 ①B「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。 ②学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：平成28年1月28日（木）の消印有効 学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：平成28年1月29日（金）17：00まで（郵送の場合は、封筒に「卒業論文（写し）在中」と朱書きし、必ず「文学研究科教務担当」あてに郵便局で 特定記録郵便 により送付のこと。）	
B	文学研究科 必要事項記入用紙（全員）	文学研究科所定の用紙を用い提出してください。
C	A以外の研究成果を示す論文等（写し）（希望者のみ）	A（卒業論文の写し（又は研究報告書））以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。外国語で書かれたものでも構いません。

《理学研究科》

A	推薦書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成の上、厳封したもの。
---	-----	---

《生活科学研究科》

A	推薦書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成したもの。
---	-----	------------------------------------

5 出願方法

入学検定料を納付し、13・14ページに記載の「4 出願書類等 (1)出願書類等（共通）」の書類、及び「(2)研究科ごとに必要な書類」を取りそろえ、本学所定の出願封筒を使用し、送付してください。
出願手続きについては、3ページに記載の〈一般選抜〉「5 出願方法」と同様です。

6 選抜方法

入学者選抜は、学力試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。学力試験会場は、本学杉本キャンパス（JR 阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車）です。

なお、詳細は、受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(学 力 試 験)

● 経 営 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

企業等の経営や会計、産業の諸領域に関わって、広い視野に立って専攻分野を研究し、精深な専門的あるいは学際的知識を学修する意欲と能力を有する人を求めます。

《グローバルビジネス専攻》

2月17日(水)		2月18日(木)
10:00~12:00	13:10~15:10	10:00~
筆答試験	筆答試験	口述試験
<p>英語 (100点) 解答は、日本語で行い、表記はひらがな、ローマ字でも可。 語学辞書持ち込み不可。</p> <p>TOEFL iBTによる 代替可 (注2参照)</p>	<p>専門科目(出題分野)(200点) 下記の出題分野からそれぞれ1問ずつ、合計10問が出題されます。 (A)経営(B)経営情報(C)国際ビジネス(D)金融(E)流通(F)産業(G)会計(H)経営分析(I)経済学(J)数学・統計学 10問のうち2問を選択し、日本語1,000字程度で解答してください。 ただし、日本語の文字数制限は、出題分野「(J)数学・統計学」からの出題に対する解答には適用されません。 語学辞書等持ち込み不可。</p>	<p>筆答試験の解答と研究計画書について行います。 (1人当たり 約15分)</p>

注1 2月17日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。

該当者は、2月18日(木)9:30に経営学研究科支援室(商学部棟1階事務室)前で発表します。

2 英語の試験で、受験者が以下のいずれかの試験方法を選択できるようにします。

- ① 入試日の英語の筆答試験を受験する。
- ② TOEFL iBT (Internet-Based Test)を受験する。TOEFL iBTの成績(120点満点)を100点満点に換算して、入試の英語の評価点数として採用する。
- ③ 入試日の英語の筆答試験とTOEFL iBTの両方とも受験した場合は、TOEFL iBTの成績(120点満点)を100点満点に換算して、入試の英語の筆答試験とTOEFL iBTの高い方の成績を入試の英語の評価点数として採用する。

3 TOEFL iBTの成績の使用を希望する場合、以下のすべての条件を満たすことが必要です。

- ① 平成28(2016)年2月10日(水)までに経営学研究科に送付されたOfficial Score Report(公式スコア票)の成績を有効とする。
- ② 入試で有効とするTOEFL iBTの成績は、平成26(2014)年11月1日から平成27(2015)年の10月31日までの1年間に受験したTOEFL iBTテストの成績とする(TOEFLテスト事務局が有効とする2年ではありません。)

また、TOEFL PBT (Paper-Based Test) 及び TOEFL-ITP (団体向け)の成績は不可とします。注意してください。

4 TOEFL iBTの成績の使用を希望する受験者は、志望理由・研究計画書にそのことを記載してください。記載されていない場合は、TOEFL iBTの成績は利用できません。

5 TOEFL iBTのOfficial Score Report(公式スコア票)が経営学研究科に送付されるよう手続きをする際、DIコード(Institution Code)及びDepartment Codeに、次の番号を用いてください。

DIコード: 8914 Department Code: 82

願書記入上の注意

受験科目は記入の必要がありません。

● 経済学研究科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

一般コース

経済学の基礎理論を習得したうえで、現代の経済学の先端的な理論や実証研究に関心をもつと同時に、豊かな現実感覚をもつ人を求めています。

修士専修コース

経済学に対する関心をもちながら、社会のさまざまな分野で問題解決に取り組む意欲のある人を求めています。

《現代経済専攻》

本研究科前期博士課程には、後期博士課程への進学あるいは長年の職業体験やライフワークの学問的成果への結実を目指して修士論文作成を目標とする「一般コース」と、現代経済に関する精深な知識を獲得して社会の諸分野で活躍する人材養成を目標とする「修士専修コース」が置かれています。後期博士課程へ進学を希望する場合は、一般コースを受験してください。修士専修コースから後期博士課程に進学することは出来ませんので、注意してください。

○ 一般コース

2月18日（木）		2月19日（金）
10：50～11：50	13：00～14：30	14：00～
筆答試験	筆答試験	口述試験
英語Ⅱ 辞書2冊（母語と英語1冊及び日本語と英語1冊）の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。 解答を英語で記すことができる。	経済理論1（マルクス経済学1）、 経済理論2（マルクス経済学2）、 経済理論3（近代経済学1）、 経済理論4（近代経済学2）、 計量経済学、経済史、経済政策、 国際経済 上記の8問の中から1問を試験場で選択。いずれの間に対しても、英語で解答することができる。	筆答試験の解答・ 研究計画書について 行います。 （1人当たり 約15分）

注 口述試験は、2月18日（木）の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、2月19日（金）13：30に経済学部棟1階エレベーター前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1に、入学後研究指導を希望する教員の氏名を、2にその担当授業科目を記入してください（「大学院の概要」〔別冊子〕参照）。
- ② 「志望専門分野名」欄の3に志望する履修コース名「一般コース」と記入してください。

○ 修士専修コース

2月18日（木）	2月19日（金）
13：00～14：30	14：00～
筆答試験	口述試験
経済理論1（マルクス経済学1）、 経済理論2（マルクス経済学2）、 経済理論3（近代経済学1）、 経済理論4（近代経済学2）、 計量経済学、経済史、経済政策、国際経済 上記の8問の中から1問を試験場で選択。いずれの間に対しても、英語で解答することができる。	筆答試験の解答・研究計画書について 行います。 （1人当たり約15分）

注 口述試験は、2月18日（木）の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、2月19日（金）13：30に経済学部棟1階エレベーター前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1に、入学後研究指導を希望する教員の氏名を、2にその担当授業科目を記入してください（「大学院の概要」〔別冊子〕参照）。
- ② 「志望専門分野名」欄の3に志望する履修コース名「修士専修コース」と記入してください。

● 法 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

- 1 法学的・政治学的問題に豊かな関心を持ち、解決策を模索する強い意志を持つ人。
- 2 実務経験の中で生じる問題を、法学的・政治学的観点から考察しようとする意志を持つ人。
- 3 法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な基礎的知識を持つ人。
- 4 自己の見解を論理的に構築・展開して、相手に説明し正当化する能力を持つ人。

《法学政治学専攻》

2月17日（水）	
9：00～12：00	14：30～
筆答試験	口述試験
下表の専門試験科目のうち、 2科目 を選択。 （各科目100点、合計200点）	<ol style="list-style-type: none"> ① 日本語での説明 （パーソナル・ヒストリーと留学の目的） ② 質疑応答 （合否で判定する）

- 注1** 実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟2階事務室前に掲示します。
- 2** 専門試験科目の選択の際には、「大学院において専攻する科目」を含めなければなりません。なお、国際組織法を専攻しようとする者は国際法と他の1科目を選択しなければなりません。
- 3** 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。

専門試験科目

法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法（商法総則、会社法）、民事訴訟法、倒産法、労働法、社会保障法、国際法、国際経済法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法（中国法）、欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、「大学院において専攻する科目」を記入してください。大学院において専攻可能な科目は、原則として上記の専門試験科目名と一致します。なお、国際組織法は、上記専門試験科目名にあげられていませんが専攻科目になります。
- ② 受験科目欄「専門」には、受験する専門試験科目名（2科目）を記入してください。
- ③ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

● 文 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

文学研究科は、人間、社会、文化、言語に関心を持つ人間性豊かな人材を育成することを目標としている。それに対応して、以下のような人材を求める。

- ※人文科学・行動科学の専門領域に関する明確な問題意識と専門的知識を有する人
- ※社会的経験をふまえて人文科学・行動科学の専門領域の研究を志す人

《哲学歴史学専攻》

日時等 専門分野	2月17日（水）		2月18日（木）
	10：30～12：00	13：30～16：30	13：30～
	筆答試験		筆答試験
	外国語（100点）	専門科目（200点） （出題分野）	口述試験 （100点）
哲 学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	哲学概論・西洋哲学史	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約30分）。
日本史学		日 本 史 学	
東洋史学		東 洋 史 学	
西洋史学		西 洋 史 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《人間行動学専攻》

日時等 専門分野	2月17日（水）		2月18日（木）
	10：30～12：00	13：30～16：30	13：30～
	筆答試験		筆答試験
	外国語（100点）	専門科目（200点） （出題分野）	口述試験 （100点）
社会学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	社会学概論・社会学研究法（調査法を含む）	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約30分）。
心理学		心理学概論・心理学研究法	
教育学		教育学概論・教育方法学	
地理学		地 理 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《言語文化学専攻》

日時等	2月17日(水)		2月18日(木)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
専門分野	筆答試験	筆答試験	口述試験 (100点)
	外国語(100点)	専門科目(200点) (出題分野)	
国語国文学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	国文学・国語学	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(1人 当たり約30分)。
中国語中国文学		中国文学・中国語学・中国文化学	
英語英米文学		英米文学・英語学・英米文化学	
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学		ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ド イツ語圏文化学 フランス語圏文学・フランス語 学・フランス語圏文化学 ※※	
言語応用学		言語応用学 (言語理論・言語応用論、言語比 較論・言語教育論等)	
表現文化学		表現文化学 (文化理論・表現文化論・表象文 化論・比較表現論等)	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

※※ ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《アジア都市文化学専攻》

日時等	2月17日(水)		2月18日(木)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
専門分野	筆答試験	筆答試験	口述試験 (100点)
	外国語(100点)	専門科目(200点) (出題分野)	
アジア都市文化学	日本語	アジア都市文化学 (アジアの都市と文化に関 する基礎的問題)	筆答試験及び提出さ れた論文等について 行います(1人当たり 約30分)。

※ 専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

● 理 学 研 究 科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

自然科学における専門分野の基礎学力を有し、自然の摂理を解明・理解し、基礎科学的、学際的、あるいは応用的観点から研究を推進することを目指す人を求めます。

日時等 専攻名	2月10日（水）	
	9：30～12：00	13：30～
	筆答試験	口述試験
数物系	英語及び専門科目 （英語が母語とみなされる場合は、 他の試験を課すことがあります。）	専攻別に専門科目、日本語修得の程度等について行います。
物質分子系		
生物地球系		

願書記入上の注意

学生サポートセンター理学研究科教務担当で相談のうえ、記入してください。

● 生活科学研究科

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

人間生活の多様な側面を科学的に追究し、研究や実践を通じて、現代社会における生活問題の改善や解決、新しいライフスタイルの提案や構築、人々の生活の質の向上に貢献する意欲を持つ人を求めます。

出願しようとする者は、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照の上、志望する専門科目の教員に平成 27 年 12 月 1 日（火）までに必ず相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。

《生活科学専攻》

日時等 履修 コース名	2月17日（水）			2月18日（木）
	10：00～11：30	12：30～14：00	14：30～16：00	10：00～
	筆答試験			口述試験
	<専 門>	<外国語>	<基 礎>	
食・健康科学	志望する専門科目を 1科目選択 食品機能化学 食品微生物学 栄養医科学 公衆栄養学 生体情報学 病態栄養学 臨床栄養学 給食経営管理論 生化学 食品衛生科学 生体機能学 食品生体防御学	英 語 （本研究科が用意する 「英和辞書」のみ使用 できます）	次の4科目から 1科目選択 化学 生化学 解剖生理学 生物学	志望する専門について 行います。 （1人当たり約10分）
居住環境学	志望する専門科目を 1科目選択 まちづくり学 住生活学 ハウジング 居住文化史 居住空間設計学 居住福祉計画学 住居人類学 医療福祉環境設計学 居住人間工学 居住環境工学 居住環境調整材料学 居住環境材料感性学 住居構工法	英 語 （本研究科が用意する 「英和辞書」のみ使用 できます）	次の3科目から 1科目を 選択 居住システムデザイン学 （住居学・計画学に関する 問題） 居住福祉デザイン学 （住居・施設設計学、人間 工学、安全工学に関する 問題） 居住エコロジー環境学 （居住材料・構造学、居住 環境工学に関する問題）	志望する専門について 行います。 （1人当たり約10分）
総合福祉科学	志望する専門科目を 1科目選択 社会福祉学 ワークライフバランス政策学 先端ケア学 福祉政策学 コミュニティ福祉学 家族社会学	英 語 （本研究科が用意する 「英和辞書」のみ使用 できます）	次の 1科目必須 福祉基礎1 （社会学・心理学・ 教育学・経済学・社 会福祉学に関する 問題）	志望する専門について 行います。 （1人当たり約10分）

※合否判定は、各科目100点満点の4割以上かつ全科目合計点6割以上の者の中から、口述試験を含めて総合的に行います。

願書記入上の注意

次の共通①～④及び各コースの⑤に従って記入してください。

【コース共通】

- ①「志望専攻名」欄に生活科学と記入してください。
- ②「志望専門分野名」欄の1に志望する履修コース名を、2に研究テーマを、3に専門科目を記入してください。
※研究テーマは「大学院の概要」[別冊子]を参照してください。
- ③受験科目「専門」欄の1に筆答試験<専門>欄より上記②と同じ専門科目を記入してください。
- ④受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

【食・健康科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、食・健康科学コースの<基礎>から1科目を選んで記入してください。

【居住環境学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、居住環境学コースの<基礎>から1科目を選んで記入してください。

【総合福祉科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、平成27年12月3日(木)までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、平成27年12月4日(金)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り12月3日(木)までに申し出てください。

8 合格者発表等について**(1) 合格者発表**

掲示・ホームページにより合格者の発表をおこないます。

研究科	日時(掲示・HP掲載期間)	場所(掲示)
経営学研究科	3月3日(木) 10:00～3月9日(水) 17:00	各研究科の 指定する場所
経済学研究科	3月2日(水) 10:00～3月8日(火) 17:00	
法学研究科	3月3日(木) 10:00～3月9日(水) 17:00	
文学研究科	3月3日(木) 10:00～3月9日(水) 17:00	
理学研究科	2月26日(金) 10:00～3月3日(木) 17:00	
生活科学研究科	3月3日(木) 10:00～3月9日(水) 17:00	

ホームページでの合格者発表

大阪市立大学入試情報ホームページ (<http://daigakuje.jp/ocu-in-goukaku>) に、合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による合否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

※経済学研究科・文学研究科を受験した者については、合格者発表日に「合格者受験番号一覧表」を発送します(返信用封筒を用意する必要はありません)。

(2) 合格通知書

合格者発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格者発表日に、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」を発送します(手渡しでの書類交付はありません)。

9 入学手続

入学手続は、下記の日程でおこないます。

日時 平成 28 年 3 月 25 日 (金) 10:00~15:00 (ただし、12:00~12:45 を除く)
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

10 学 費

現行の金額は次のとおりですが、平成 28 年度入学者の金額については変更されることがあります。

入学料	納付区分	「大阪市住民及びその子」注	222,000円
		「その他の者」	342,000円
授業料		年間	535,800円

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注1 「大阪市住民及びその子」とは、入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、平成 27 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。

日本国籍を有しない者も同一の要件です。

2 「大阪市住民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」及び「住民票などの公的書類（平成 28 年 3 月中に交付を受けたもの）」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は入学手続書類交付日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※既納の納付金は、還付いたしません。

また、授業料の減免の制度があります。詳細については、国際センター（TEL 06-6605-3558）において別途お知らせします。

11 注意事項

※12 ページに記載の＜一般選抜＞「11 注意事項」を参照してください。

ただし、13 ページの「2 出願資格(4)(5)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。

また、入学手続に際して、**わが国に居住している保証人が必要**です。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（裏表紙参照）。

<出願資格審査について>

一般選拔出願資格(6)、(7)〔1ページ参照〕 に該当する者が対象です。
外国人留学生特別選拔出願資格(4)、(5)〔13ページ参照〕

1. 出願資格審査申請期限

平成27年12月1日(火) 【消印有効】

2. 出願資格審査申請書等送付先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
(志望する研究科あてに送付してください〔裏表紙参照〕。)

3. 出願資格審査申請書類

- ① 出願資格審査申請書 本学所定用紙
- ② 最終学歴に関する証明書

○ 一般選拔出願資格(6)の者
外国人留学生特別選拔出願資格(4)の者

- ・成績証明書
- ・在学証明書
- ・指導教官の推薦書(厳封したもの)

○ 一般選拔出願資格(7)の者
外国人留学生特別選拔出願資格(5)の者

- ・最終出身学校の成績証明書
- ・卒業(修了)証明書
- ・最終出身学校の学則及びシラバス、又はこれに相当するもの(コピー可)

- ③ 職務経歴又は学力に関する書類 (提出を求める場合があります)
- ④ 志望理由書 (提出を求める場合があります)
- ⑤ その他、本人の希望により、上記以外の証明書・論文・作品・資料等を添付することを認めます。

4. 出願資格審査 各研究科の選考方法による。

5. 出願資格審査結果通知方法 出願締め切り日の1週間前までに郵送(速達)で通知。
(ただし、理学研究科については別途連絡します。)

6. 出願資格認定有効期限 当該年度、当該研究科限り。

7. 出願資格審査申請書請求方法

※ 平成27年12月1日(火)【消印有効】までに必ず必要書類をそろえて申請できるように、出願資格審査申請書の請求は早めに行ってください。

① 直接窓口で受領する場合

学生サポートセンター各研究科教務担当で受領してください。

月～金曜日(土、日、祝日を除く)

9:00～17:00(ただし12:00～12:45を除く)

② 郵送で請求する場合

ア 請求する封筒の表に「大学院出願資格審査申請書請求」と「赤色」で書き、裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入。

イ 返信用封筒(92円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記した定形封筒)を同封。

ウ 請求先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
(志望する研究科あてに請求してください〔裏表紙参照〕。)

＜社会人特別選抜学生募集の概要＞

研究科名	経営学研究科	経済学研究科	法学研究科	文学研究科	理学研究科	生活科学研究科	
専攻名	グローバルビジネス	現代経済	法学政治学	哲学歴史学 人間行動学 言語文化学 アジア都市文化学	物質分子系	生活科学	
募集人員	10	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	
出願資格	次のいずれかに該当すること (1) 大学を卒業した者及び平成28年3月までに卒業見込みの者 (2) 学位授与機構又は大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、及び平成28年3月までに修了見込みの者 (4) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部大臣の指定した者 (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者 (6) 平成28年3月末で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者 (7) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日現在において22歳以上の者（経済学研究科は、満30歳以上の者）						
	(A及びBの両条件を充たす者又はCに該当する者)	上記A(1)～(5)の出願資格取得後に、社会人として当該プロジェクト・テーマに関連した実務経験を有する者。上記A(6)に該当する者で、当該プロジェクト・テーマに関連した実務経験を有する者。	平成28年3月31日現在において上記(1)～(7)の出願資格取得者で、満30歳以上の者。	平成28年3月31日現在において上記(1)～(5)の出願資格取得後に、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。(6)、(7)については、別途出願資格認定が必要。	平成28年3月31日現在において上記(1)(2)(3)(4)(5)(7)の出願資格取得者で、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。	平成28年3月31日現在において上記(1)～(7)の出願資格取得者で、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。	平成28年3月31日現在において上記(1)～(7)の出願資格取得者で、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。
	C	平成28年3月に大学卒業見込みの者で当該プロジェクトに関連した実務経験を有する者。					
出願書類配付時期	平成27年10月1日	平成27年11月上旬					
出願期間	平成27年12月8日(火)～14日(月)	平成28年1月4日(月)～8日(金)【8日17時必着】 ※ただし、1月7日(木)以前の発信局(日本国内)消印のある「書留速達郵便」に限り、期限後に到着した場合でも受理します。また、最終日の15時から17時のみ入試室の窓口でも受け付けます。					
学力試験	1月12日(火)～13日(水)	A選抜: 2月18日(木) 2月19日(金)	2月17日(水)	2月17日(水) 2月18日(木)	2月10日(水)	2月17日(水)	
合格発表	1月26日(火)	3月2日(水)	3月3日(木)	3月3日(木)	2月26日(金)	3月3日(木)	
選考方法	職務経歴書、志望動機書及び研究計画書等、出願書類の内容並びに口述試験の成績を総合して行います。	A選抜: 筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。	研究計画書などの書類審査、専門科目1科目の筆答試験及び口述試験により行います。	筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。	筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。	研究計画書などの書類審査、筆答試験(専門分野1科目・英語)及び口述試験により行います。	

※ 社会人特別選抜による入学者についても、一般選抜による入学者と同様に昼間課程(夜間課程はありません)となりますが、夜間にも履修できるようにするなど、さまざまな便宜を図っている研究科もあります。詳しくは各研究科が発行している前期博士課程社会人特別選抜学生募集要項を参照してください。募集要項の請求方法は、裏表紙下欄を参照してください。

—MEMO—

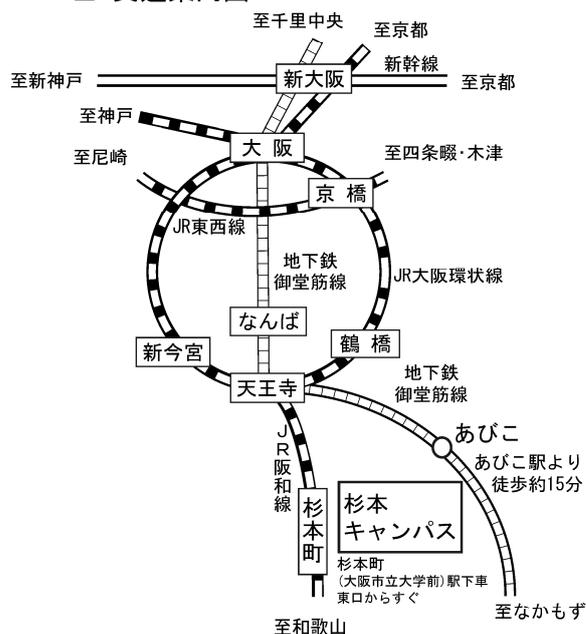
■ 杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 JR「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ
 地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

- ① 1号館
- ② 商学部棟
- ③ 経済学部棟
- ④ 法学部棟
- ⑤ 文学部棟
- ⑥ 経済研究所棟
- ⑦ 都市研究プラザ
- ⑧ 田中記念館
- ⑨ 保健管理センター
- ⑩ 河海工学実験場
- ⑪ 学術情報総合センター
- ⑫ 理学部棟
- ⑬ 工学部棟
- ⑭ 生活科学部棟
- ⑮ 工作技術センター
- ⑯ 心理臨床室
- ⑰ 2号館
- ⑱ 全学共通教育棟
- ⑲ 4号館
- ⑳ 基礎教育実験棟
- ㉑ 第1体育館
- ㉒ 第2体育館
- ㉓₁ 第1学生ホール
- ㉓₂ 第2学生ホール
- ㉔ 硬式野球場スタンド
- ㉕ ゲストハウス
- ㉖ 新産業創生研究センター
- ㉗ 高原記念館
- ㉘ 学生サポートセンター
- ㉙ 共通研究棟
- ㉚ 本部棟



■ 交通案内図



● 問い合わせ先

◆専攻・分野・受験科目・過去問題等

学生サポートセンター		〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
経営学研究科教務担当	TEL 06-6605-2203	FAX 06-6605-3649 〔各研究科共通〕 (FAXでお問い合わせの際は、必ず志望研究科名を明記してください。)
経済学研究科教務担当	TEL 06-6605-2251	
法学研究科教務担当	TEL 06-6605-2303	
文学研究科教務担当	TEL 06-6605-2353	
理学研究科教務担当	TEL 06-6605-2504	
生活科学研究科教務担当	TEL 06-6605-2803	
◎受付時間 月～金曜日(土、日、祝日を除く) 9:00～17:00 (ただし、12:00～12:45を除く)		

◆出願手続等

大阪市立大学大学運営本部入試室	TEL 06-6605-2141
-----------------	------------------

出願書類の請求方法 (郵送希望者)

- 1 封筒の表に「赤色」で「大学院〇〇研究科前期博士課程(修士課程)学生募集要項請求(一般選抜・外国人留学生特別選抜)又は(社会人特別選抜)」と記入
- 2 返信用封筒(封筒の表に「ゆうメール」と「赤色」で記載のうえ、300円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記したもの〔角形2号(24.0cm×33.2cm)〕を同封してください。
- 3 請求先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
大阪市立大学大学運営本部入試室



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

大学運営本部 入試室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
平成27年11月発行